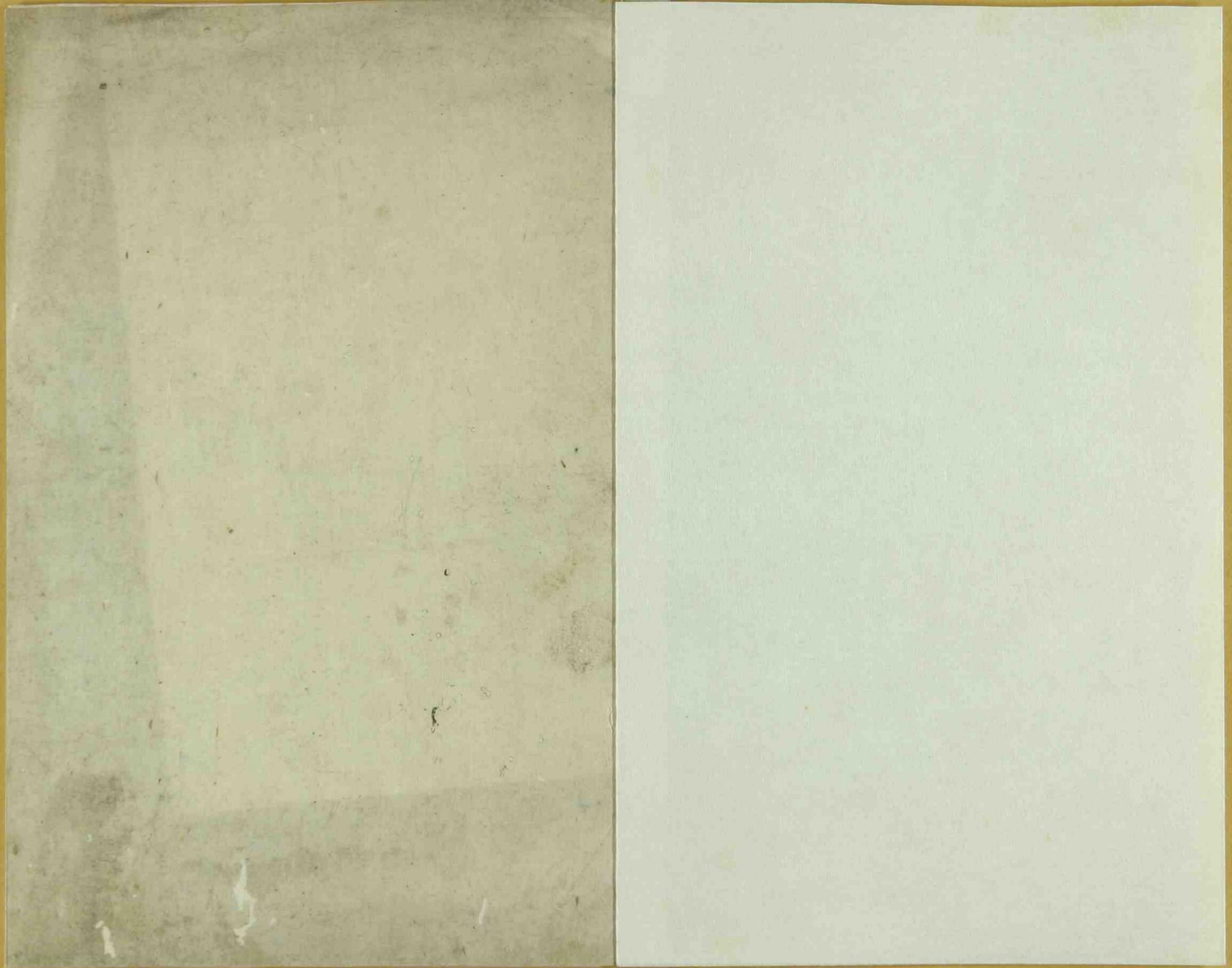


長崎大学附属図書館経済学部分館 武藤文庫所蔵





長崎大学附属図書館経済学部分館 武藤文庫所蔵

水戸齋照景山卿 是所方より奉る

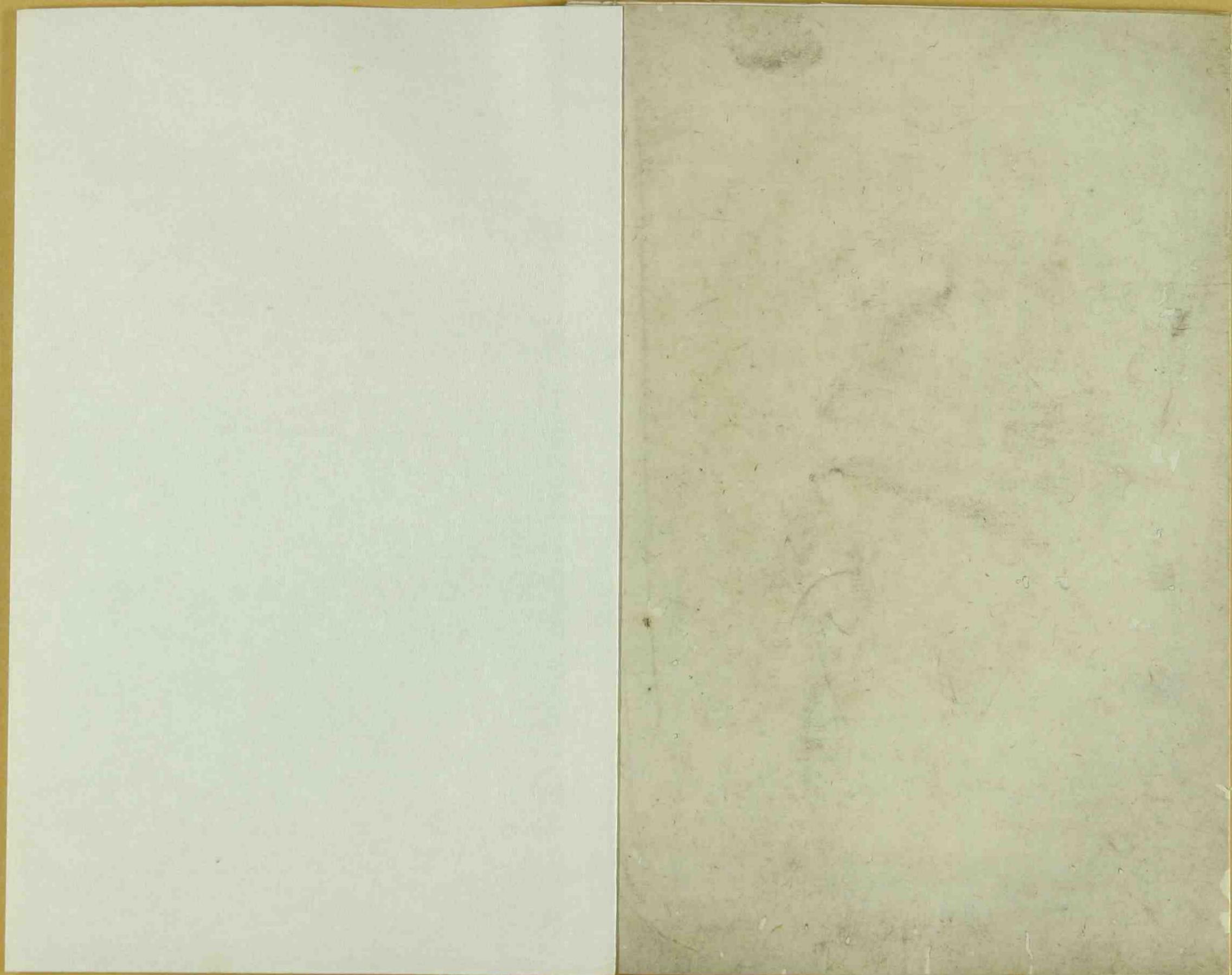
秋登し所少一曰山降年し秋我し心ぬ去月紅
艦のりし思存いまだ水在年し内あり進りたる
らん元は節承りし法玉語尼村無此戦争七
法玉の言まよもどんふれけしと六字ありし古今
尤おふと改まの融と和融改らる誠姑息苟
安の心未だ清くもたををりる事其例不サらん
あぬの承られ道に法法玉のるも姑く是語尼
村無の言まよもどんふれけしと六字ありし古今
亦の取平ふか何樂れ此中と云ふ事考りて
何とれ浦こも事々進し不用意れ言を傳ふ打拂り

しは故賞或は偽賞主士風は行て之を備お整いと云は、信が振振成
才と印或は膏氣は示して之を治す事あり
古事一紙の願憐思ふ事をもく之を以て心懸ふのは成断てこの事
少ありともあらん

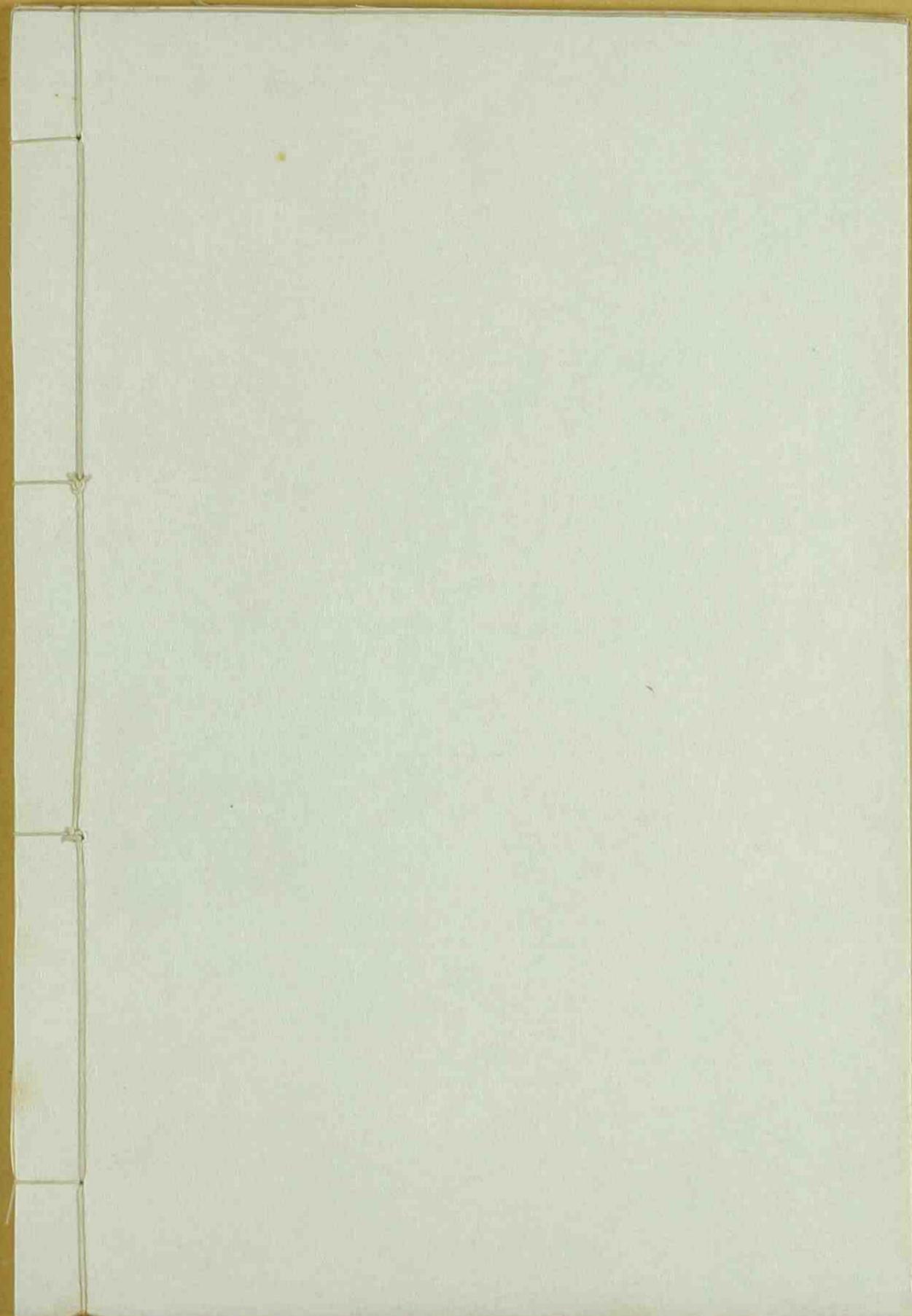
八月廿

松平旭野守

交易は許容には是業福也 神祖の教を以てしは一りも早の采
定ら澤氏振野と云は清らは其子なりは是節の心を可也也節は是
けりら一りも業人 振野は是節は是年を其業福の待り
及は信也の心對りなりは是義理を以て之 古事一紙の願憐思ふ事
我繼りなりは是節の心定し積りなりは是節の心定し積りなりは是節
し是にのみ一りも業人 振野は是節は是年を其業福の待り
居ありは是節の心定し積りなりは是節の心定し積りなりは是節
と云は是節の心定し積りなりは是節の心定し積りなりは是節
玉脈能つは是節の心定し積りなりは是節の心定し積りなりは是節
氏末也し是節の心定し積りなりは是節の心定し積りなりは是節
是也我備思ふは是節の心定し積りなりは是節の心定し積りなりは是節
と信の心入りなりは是節の心定し積りなりは是節の心定し積りなりは是節
我亦法是後の老女婦人なりは是節の心定し積りなりは是節の心定し積りなりは是節
らる是後日拂ふは是節の心定し積りなりは是節の心定し積りなりは是節



長崎大学附属図書館経済学部分館 武藤文庫所蔵



長崎大学附属図書館経済学部分館 武藤文庫所蔵

